

東海ブロックいっせい宣伝 自民・維新連立政権と対決

東海地方の日本共産党は20日、ブロックいっせい宣伝に取り組み、自民・維新による連立政権、国会議員定数削減を厳しく批判し、悪政と正面から対決するたたかいをよびかけました。愛知、静岡、岐阜、三重各地で400人以上が参加しました。



事態条項の国会提出など、これまで以上の暴走政権になる。何としてもやめさせるために日本共産党へご支持をと訴えました。

名古屋南西地区の宣伝では年配の女性が「もうめちやくちやだね、せっかく自民党が少なくなったのに維新が手を貸している」と話していました。

●静岡 浜松市浜名区で10人が都田総合公園交差点で宣伝。自民党と維新の会の連立は自民党の悪政を一層悪い方向に向かわせる危険があると訴え。「しんぶん赤旗」日曜版電子版の購読も訴えました。中学生が手を振って激励してくれました。

●岐阜 19、21日にかけて全地区で取り組み、30カ所、80人が参



戦後最悪の危険 自維政権と正面对決 田村委員長



臨時国会が21日に召集され、高市早苗新総理の下、自民党と日本維新の会による連立政権が発足しました。日本共産党の田村智子委員長は党国会議員団総会で「戦後の最悪の政権となる危険がある」「高市自民・維新政権に対し、断固として対決し、危険な暴走政治を阻止するために全力を尽くそう」と呼び掛けました。

同日午後、党国会議員団の緊急街頭宣伝が行われ、もとむら伸子衆院議員は、小池晃書記局長、田村貴昭、辰巳孝太郎、堀川あきこの各衆院議員、岩淵友参院議員、宮本徹前衆院議員らとともに訴えました。(上写真左端が本村氏)

新城市、伊勢市議選(26日投票)ご支援を
◆新城市 あさおようへい(48) 現、白頭きよし(62) 新
◆伊勢市 楠木ひろひこ(71) 現、川口浩(57) 現

“ごみが多すぎる。どうしたら”
浜松でつどい もとむら議員
日本共産党のもとむら伸子衆院議員は18日、党西部地区委員会が浜松市で開いたつどいに参加し、参加者の質問に答えました。
海岸のごみ拾いや環境問題の活動をしている参加者は「あまりのごみの量にうんざり、先が見えない」と質問。もとむら氏は「海岸のごみ回収の予算は47都道府県で37億円から来年は40億円に増えます。環境省も『声を上げて』といっています」と回答し、その方は「解決の展望が見えて参加してよかった」と話していました。
他の質問にも本村氏が丁寧に答え、会場で入党の働きかけも行われました。
参加者から「また開きたい」との感想が寄せられました。



議らが、「しんぶん赤旗」日曜版の見本紙を100部配布、同電子版紹介カードも好評で、ビラに挟んで100枚配布しました。